

平成26年度 城星学園中学高等学校 自己評価

本年度の重点目標	評価の観点	評価項目	設問	評価	評価所見	今後の課題	
<p>・キリスト教精神による教育と創立者「ドン・ボスコ」の教育精神を理解し、特に「アッシステツァ」による教育的な関わりをもって、生徒の主体性を育成することを目指す。</p> <p>・学級指導、教科指導において、生徒個々との関わりをもち、生徒の変化に気づく教育的な目をもつ。</p> <p>・TPOをわきま、言葉遣いや態度の指導を意識する。</p> <p>・生徒が自分中心ではなく、周囲のことに興味をもつ目を育てるような関わりをする。</p>	教育使命	建学の精神の理解	カトリックの精神、ドン・ボスコ教育、特に「アッシステツァ」への理解を深め、教育活動において実践する。	B	キリスト教教育の理解、創立者の教育の心に触れる機会をもち、生徒との関わりにおいて具現する努力をした。	生徒の自立を阻む形にならないよう、「アッシステツァ（共にいる）」の意味の深化がさらに必要である。	
		社会に貢献できる女性の育成	情操豊かで自立した社会人を目指し、マナー指導、自主・自立への指導を行なう。	B	日常のマナー指導、授業や行事等の中での自主、自立の育成を意識した。		
	教育内容	教育課程	教育課程は、指導要領を遵守しながらも、創意と工夫ある独自の授業を展開している。	A	指導要領を踏まえながらも、コースの特性に合わせて展開しながら、展開した。	2015年度スタートする新カリキュラムが生徒にとっても、より効果的なものとなるよう、研鑽を積む必要がある。	
		コースの特色の明確化	2015年度改革において改編する中学校・高等学校の各コースのカリキュラムについてよく研究する。	B	これまでのコース制をさらに深化、発展させる次年度のコースのカリキュラムを展開の準備を行なった。		
		宗教教育	朝終礼の祈りと聖歌を真摯な姿勢で行うよう指導する。 宗教行事を落ち着いた姿勢で始めるために、「沈黙」を徹底するよう、全教員が協力して指導にあたる。	A	生徒それぞれが、穏やか教育環境の中で、人間関係づくりが出来るよう誠実な指導ができた。		個々の生徒の精神的な成長を促し、また人権や国際感覚の成長のために、生徒の自主的な活動を伴う行事作りを行っている。
				A	生徒が自分のことだけを考えるのではなく、身近な社会や広く世界に関心を向け、特に助けを必要としている人々と連帯して生きる心の姿勢を養う。		
				B	人権尊重に関する様々な課題や指導方法を研究する。		
		人権教育	人権尊重の立場において、様々な学習方法で意識を高める教育を行う。	B	今年度は「多文化共生」に視点を置きながら、人権尊重の感覚を養う取り組みを行った。質の高いものとなった。		
	国際理解教育		他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れる。	B	海外の同世代との交流、コミュニケーションの機会をもち、体験重視の国際理解を目指した。		
	<p>・授業力の向上のために、研究授業等、他教員の評価を参考にしながら、自らの教科指導、授業に課題をもって臨む。</p>	教科指導	研究体制	教科指導力向上を目指して各教員が課題や指導方法を研究する。 教科指導力向上のために、外部団体の研究会などに参加する。	B B	教科指導の充実を目指し、学内外において、研究の機会を持ち授業に生かした。	外部業者による研修をより計画的に取り入れ、教員の活性化を図る。
教科内での連携			教科としての力を高めるため、教科主任を中心に課題や指導方法を研究し合う。	C	個々の授業研究にとどまることが多く、教科としての取り組みに不足があった。		
教員の資質向上		教員の資質向上	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会を持つ。	B	意識は向上したが、成果においては、更に時間が必要である。	教科指導力をベースに、教員としての資質を磨く仕組みを具体的に考案していく必要がある。	
		校内研修	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施する。	B	受け取る側の意識改革を求める必要がある。		
		教員・教科間連携	教員間、教科間の信頼関係に基づく連携により、生徒の生活面、学力面の向上という同じ目標を目指して教育活動を行う。	B	教員間の情報交換はよく行われており、生徒個々への対応について連携、協力の姿勢はあった。		
<p>・進路指導の充実のために、生徒の学力分析を行い、志望進路達成のための方策を生徒自身と共に確認する。</p>		進路指導	進路相談	学級担任は少なくとも学期に一回は全生徒と懇談し、生徒の問題が抱えている課題の発見・解決への援助をする。	A	生徒との個別の関わりについては、高い意識をもっている。	情報管理システムの導入による「城星カルテ」を活用し、生徒の学力面の指導体制をより丁寧に行っていくことを目指している。
	データの共有化		生徒の模試成績を組織的に管理し、学年・担任・教科担当者が連携を図りながら進路指導を行う。	B	データの共有化についての進展が見られた。		
<p>・安心して学べる環境作りのために、教員間の日常的な情報共有を積極的に行う。</p> <p>・保護者との連絡、連携によって生徒指導にあたる。</p> <p>・生徒の安全管理を常に意識し、生徒にも自己管理の重要性を意識付ける。</p> <p>・教育支援の組織的な対応を徹底する。</p>	生徒指導	組織的な生徒指導	全体集会の訓話による意識付けを行う等、組織的な指導を行なっている。	B	担任のみが指導にあたるのではなく、組織的な指導を重視した。	管理職を中心とした指導の方向性の明確にし、家庭との連携を大切にしながら生徒の指導にあたっていく姿勢をより確かにしていく。	
		家庭との連携をもった生徒指導	保護者会等で吸い上げた意見、要望について誠実に対応する。	B	家庭との情報共有、連携を大事にするよう意識した。		
		学習指導	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行う。	B	学力差を越えさせる授業展開を、各教員とも苦勞しながら行っている。		
	生徒支援	カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制をもとに、カウンセラーの活用も心がける。	B	スクールカウンセラーの協力を得ることが出来た。	カウンセラーとの連携をとりながら、学校生活に困難のある生徒を継続的に支援する。	
		環境教育	5Sの徹底	教員個人はもちろん生徒の指導においても5Sを意識し、実施する。	B	教室環境の整備、校内美化を日常的に意識した。	生徒の自主的活動として展開させていきたい。
	安全管理	危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察・消防との連携、訓練等、学校の安全対策をとる	B	小事においても、安全、危機管理への意識付けを行った。	教員側の安全管理への意識は現実的に更に強化させるが、生徒自身の防犯、防災等における具体的な対応能力を高める必要がある。	
		安全管理	第一義に生徒の安全を意識し、防犯、防災の充実を図る。 生徒が自己管理の重要性を意識するよう指導を徹底する。	B B	法人統括室の協力を受けながら生徒の安全面を常に心がけた。 防犯対策、盗難防止対策など、常々まず自己管理の重要性を指導した。		

(回答記号) A : 充分達成できている B : 概ね達成できている
C : あまり達成できていない D : ほとんど達成できていない

平成26年度 城星学園中学高等学校 学校関係者評価

学校関係者評価(自己評価の結果に対する評価)

本年度の重点目標	評価の観点	評価項目	内容	自己評価	学校関係者評価	今後求める取り組み	全体に関するご意見
<p>・キリスト教精神による教育と創立者ドン・ボスコの教育精神を理解し、特にアシステンツァによる教育的な関わりをもって、生徒の主体性を育成することを目指す。</p> <p>・学級指導、教科指導において、生徒個々との関わりをもち、生徒の変化に気づく教育的な目をもつ。</p> <p>・TPOをわきまえた、言葉遣いや態度の指導を意識する。</p> <p>・生徒が自分中心ではなく、周囲のことに關心をもつ目を育てるような関わりをする。</p>	教育使命	建学の精神の理解	カトリックの精神、ドン・ボスコ教育、特に「アシステンツァ」への理解を深め、教育活動において実践する。	B	B	・生徒との関わりを実践しており、子ども自身もその関わりを深く感じています。	<p>・宗教の良い所は、「“教え”によって教える道徳(善悪)」です。中心に生徒間のつまずきや気持ちの行き違いをなるべくなくし、また自立した、世界に目を向けれる、個々の特色を認められる子どもになって欲しいと思います。</p> <p>・少人数で、クラス皆が励まし合いながら様々な事に取り組める事が素晴らしいと思います。また学校生活全般において、城星学園に決めて良かったと常々感じます。</p> <p>・私立の学校の良さは、一人ひとりの児童・生徒によく目を届かせて頂き、個々の特性を生かした教育指導をしているというイメージをもっております。きめ細やかな指導に感謝しています。今後、特に高等部で取り入れて頂ければと思う事が、エンパワメントスクールです。手間のかかる事ではありますが、検討して頂きたいと思ひます。</p> <p>・穏やかな教育環境の中で、少しのんびりした感じがします。良い事でもありますが、もう少し向上心が欲しいと思います。</p> <p>・習熟度別クラスの中でもレベル差は生まれます。特に城星学園は少人数ですので、もっと個別に子ども達の力を伸ばして頂ければと期待します。</p> <p>・先生方の教え方が、今現在の大学受験に対応できる授業内容でないと感じられる部分や、他の私学に比べ進度が遅いと感じられる部分があります。他校よりも優れた更なる改善を望んでいます。</p> <p>・生徒それぞれが具体的な目標をもって学校生活を送れるように、教育・指導して頂ければと思います。</p> <p>・良い学校で、とても子どもも喜んで通っています。ただ、もう少しレベルを上げて頂けるよう一層の努力を期待します。</p> <p>・各々きめ細かく分析されていて改めてですが、感謝しております。困難な事もありますが、良い方向へ改善の思いが伝わってきます。</p> <p>・机に座っての勉強も大切ですが、これから生きていく上で、必要な生きていく力をつけていける様に指導頂きたいと思ひます。成績も大切ですが、人間として思いやる心、コミュニケーション能力をしつかりもった子どもになって欲しいと思ひます。</p>
	教育内容	社会に貢献できる女性の育成	情操豊かで自立した社会人を目指し、マナー指導、自主・自立への指導を行なう。	B	B	・生徒と話し合う場をもっと作り、意見交換をする事や、色々な職業・社会人の方々の講習などを行って欲しいと思ひます。	
	教育内容	教育課程	教育課程は、指導要領を遵守しながらも、創意と工夫ある独自の授業を展開している。	A	A	・高2からのコースの特色や明確化は、学校が非常に力を入れて取り組まれているのを感じ、とても期待しています。	
	教育内容	コースの特色の明確化	2015年度改革において改編する中学校・高等学校の各コースのカリキュラムについてよく研究する。	B	B	・他の国々の方をお招きし、料理、物作りを共同で触れ合いながら文化の違い、人権、歴史など国際的理解を深める取り組みを実施して頂きたいと思ひます。	
	教育内容	宗教教育	朝終礼の祈りと聖歌を真摯な姿勢で行うよう指導する。	A	A	・高校において、各コースの内容により、クラス替えのない事が負担になる場合がありますので、検討して頂きたいと思ひます。	
	教育内容		宗教行事を落ち着いた姿勢で始めるために、「沈黙」を徹底するよう、全教員が協力して指導にあたる。	A	A		
	教育内容		生徒が自分のことだけを考えるのではなく、身近な社会や広く世界に關心を向け、特に助けを必要としている人々と連帯して生きる心の姿勢を養う。	B	B		
	教育内容	人権教育	人権尊重に関する様々な課題や指導方法を研究する。	B	B		
	教育内容		人権尊重の立場において、様々な学習方法で意識を高める教育を行う。	B	B		
	教育内容	国際理解教育	他国の歴史・文化の理解、異文化交流など国際理解に対する教育活動を取り入れる。	B	B		
<p>・授業力の向上のために、研究授業等、他教員の評価を参考にしながら、自らの教科指導、授業に課題をもって臨む。</p>	教科指導	研究体制	教科指導力向上を目指して各教員が課題や指導方法を研究する。	B	B	<p>・中高生になると、良くも悪くも大人に対する批判力が出てくるので、生徒と約束した事は、最後まで実行して頂けるようお願いしたいと思ひます。生徒の意欲向上の為に、無理のない範囲での約束で良いと思ひますので、その方向で進めて頂ければと思います。</p> <p>・目標を出されていますので、継続して頑張ってくださいと思ひます。</p> <p>・努力されている内容が、保護者に伝わってるか疑問を感じますので、見えるような形で取り組んで頂きたいと思ひます。</p>	
	教科指導	教科内での連携	教科指導力向上のために、外部団体の研究会などに参加する。	B	B		
	教員の資質向上	教員の資質向上	教科としての力を高めるため、教科主任を中心に課題や指導方法を研究し合う。	C	B		
		校内研修	教員間で授業内容を評価、意見交換などを行う機会を持つ。	B	B		
		教員・教科間連携	効果的な校内研修計画を立案し、教職員に実施する。	B	B		
教員の資質向上	教員・教科間連携	教員間、教科間の信頼関係に基づく連携により、生徒の生活面、学力面の向上という同じ目標を目指して教育活動を行う。	B	B			
<p>・進路指導の充実のために、生徒の学力分析を行い、志望進路達成のための方策を生徒自身と共に確認する。</p>	進路指導	進路相談	学級担任は少なくとも学期に一回は全生徒と懇談し、生徒の問題が抱えている課題の発見・解決への援助をする。	A	A	<p>・高3の1学期中に三者懇談があれば良いと思ひます。</p> <p>・子どもと先生との信頼関係が深く、話をしやすい状態に感じます。</p>	
	進路指導	データの共有化	生徒の模試成績を組織的に管理し、学年・担任・教科担当者が連携を図りながら進路指導を行う。	B	B		
<p>・安心して学べる環境作りのために、教員間の日常的な情報共有を積極的に行う。</p> <p>・保護者との連絡、連携によって生徒指導にあたる。</p> <p>・生徒の安全管理を常に意識し、生徒にも自己管理の重要性を意識付ける。</p> <p>・教育支援の組織的な対応を徹底する。</p>	生徒指導	組織的な生徒指導	全体集会の訓話による意識付けを行う等、組織的な指導を行なっている。	B	B	<p>・生徒だけではなく、保護者の方にも防犯、防災等の講習などの参加をお願いしたいと思ひます。</p> <p>・スクールカウンセラーの先生を増やして、水曜・金曜以外の曜日も対応して頂きたいです。</p>	
	生徒指導	家庭との連携をもった生徒指導	保護者会等で吸い上げた意見、要望について誠実に対応する。	B	B		
	生徒指導	学習指導	学習指導において、生徒の実態に合わせた指導方法の工夫・改善を行う。	B	B		
	生徒支援	カウンセリング体制	カウンセリングマインドを取り入れた支援体制のもとに、カウンセラーの活用も心がける。	B	B		
	環境教育	5Sの徹底	教員個人はもちろん生徒の指導においても5Sを意識し、実施する。	B	B		
	安全管理	危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察・消防との連携、訓練等、学校の安全対策をとる	B	B		
安全管理		安全管理	第一義に生徒の安全を意識し、防犯、防災の充実を図る。	B	B		
安全管理	安全管理	安全管理	生徒が自己管理の重要性を意識するよう指導を徹底する。	B	B		